

平成22年度札幌市総合防災訓練実施計画書

様式1

1 目的

平成22年度札幌市総合防災訓練は、現在の「札幌市地域防災計画」における災害想定を大きく上回る「第3次地震被害想定」による想定被害に対処するものとして、市域内での直下型地震発生を想定とし、訓練の主体を地域住民中心とした実態に即した訓練を行い、災害発生に対する住民の主体的な行動への意識向上を促進する。また、札幌市と防災関係機関、事業所、各種団体が連携した総合的かつ実践的な訓練を実施することにより、「防災協働型社会の実現」と「災害に強いまちづくりの推進」を目的とする。

2 日時

平成22年9月1日(水) 午前9時30分～午前11時30分(小雨決行)

3 場所

北区篠路3条9丁目(市有地及びその周辺)

4 主催

札幌市

5 参加・協力団体

- ・ 篠路連合町内会
- ・ 鉄西連合町内会
- ・ 幌北連合町内会
- ・ 北連合町内会
- ・ 新川連合町内会
- ・ 新琴似連合町内会
- ・ 新琴似西連合町内会
- ・ 屯田連合町内会
- ・ 麻生連合町内会
- ・ 太平百合が原連合町内会
- ・ 拓北・あいの里連合町内会
- ・ 北海道開発局札幌開発建設部
- ・ 陸上自衛隊第11旅団司令部・第18普通科連隊
- ・ 札幌管区気象台
- ・ 北海道警察本部
- ・ 北海道札幌方面北警察署
- ・ 江別市消防本部
- ・ 石狩北部地区消防事務組合消防本部
- ・ 東日本電信電話株式会社北海道支店
- ・ 株式会社NTTドコモ北海道支社
- ・ 北海道電力株式会社
- ・ 北海道ガス株式会社
- ・ 社会福祉法人篠路福祉会篠路中央保育園
- ・ 株式会社じょうてつケアサービス
- ・ グループホーム 菜の花しのろ館
- ・ 社会福祉法人エルアール会 特別養護老人ホーム障がい者支援施設 グリーンピアしのろ
- ・ 社団法人北海道エルピーガス協会
- ・ 日本赤十字社札幌市地区本部
- ・ 社団法人札幌市医師会
- ・ 社団法人札幌薬剤師会
- ・ 北海道大学病院
- ・ 北海道医療センター
- ・ 札幌市消防活動支援隊
- ・ 北海道コカ・コーラボトリング株式会社
- ・ 札幌市北区災害防止協力会
- ・ 社団法人北海道警備業協会
- ・ 財団法人札幌市防災協会
- ・ 学校法人吉田学園医療歯科専門学校
- ・ 財団法人移動無線センター
- ・ 北海道自動車処理協同組合
- ・ 社団法人日本自動車連盟札幌支部
- ・ 札幌市管工事業協同組合
- ・ 札幌北区防火委員会
- ・ 札幌北区防火管理者協議会
- ・ 札幌北区危険物安全協議会
- ・ 社団法人札幌市市友会
- ・ 財団法人札幌国際プラザ
- ・ 札幌市北消防団
- ・ 株式会社ラルズ
- ・ 市立篠路小学校
- ・ 社会福祉法人扶桑園児童養護施設柏葉荘
- ・ 有限会社篠路愛護苑 グループホーム からまつ
- ・ 有限会社プロケア グループホーム ゆうあい

6 災害想定

平成22年9月1日(水)午前9時30分頃、市内北東部を震源としたマグニチュード7.3の直下型地震が発生、家屋の倒壊など札幌市内市街地を中心に全市域に甚大な被害を及ぼした。

特に北区内では、建物の倒壊及び火災等が随所で発生したことに加え、電気、水道、ガスなどのライフライン機能が停止したほか、火災及び建物等の損壊により、家屋や施設等に住民多数が取り残された。また、主要幹線道路数箇所が寸断され、大型車両も含む多重衝突事故が発生し、今後発生が見込まれる余震により、さらなる被害拡大が予想される事態となった。

7 訓練経過

平成22年度札幌市総合防災訓練実施計画書

様式1

9時30分、気象庁から札幌市内に震度5弱以上の大きな揺れを予測した「緊急地震速報」が発信され、数秒後に大きな揺れが到達した。札幌管区気象台が「震源地は石狩地方中部で、札幌市では震度7を観測、震源の深さは15km、マグニチュード7.3と推測される。」と発表。札幌市・北区はこれらに対応するため、災害対策本部を設置。

地域住民が自主避難を開始し、自主防災組織等により被災者の救助、応急救護、消火を実施。

北区災害対策本部は、関係機関の活動重点地域を指定し、同地域に現場合同指揮本部を設置。被害状況の把握並びに現場指揮活動を実施。

避難場所を開設し、災害時要援護者を含めた地域住民等の避難者の受け入れを行う。

応急救護所を設置し、医療スタッフの緊急移送、負傷者トリアージ、応急処置及び救急搬送を実施。

緊急輸送路を確保し、水や食料の配布を行うとともに、災害救援物資の輸送を実施。

地震発生に伴い、高層ビルの倒壊や火災、更に主要幹線道路において、大型車両も含む多重衝突事故が発生。これらの各現場において関係機関による消火・救出・救護の活動を実施。

ライフライン（電気・水道・ガス）の応急復旧活動を実施。

8 訓練項目等

別添1「訓練項目・訓練進行及び訓練参加機関一覧表」による

9 訓練内容

別添2「総合防災訓練細部計画書」による

10 その他

訓練参加機関の組織等については、それぞれの機関の定めるところによること。

訓練参加者の服装は、それぞれの訓練に適したものを着用し、機関名入りの腕章等をつけること。

訓練参加者及び訓練参加車両等は、別に指定された時間までに所定の場所に集合すること。

訓練終了後の撤収は、各機関が責任を持って行うこと。

訓練の実施にあたっては、特に事故のないように十分留意すること。

訓練中止の場合は、当日の「午前7時30分」までに各参加機関に連絡すること。